

公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会
ファシリティマネジメントフォーラム2025

こころとからだのウェルビーイング 研究部会

人的資本経営に資するファシリティマネジメント領域の取組み

部会長 野間 操（清和ビジネス）

内容

1. 研究テーマのご紹介
2. 2024年度活動報告
3. 研究部会参加のお誘い

研究テーマのご紹介

こころとからだのウェルビーイング研究部会

設立:2018年

■活動目的

ファシリティマネジメントを通じて、人々のウェルビーイング（身体的、精神的、社会的に良好な状態）の実現に貢献し、笑顔と活力の溢れる社会を実現する。

ウェルビーイングに働けるワークプレイスづくりについて研究

部会の位置づけと、活動経過

マネジメント 研究	FM 戦略企画研究部会
	FM プロジェクトマネジメント研究部会
	リスクマネジメント研究部会
	エネルギー環境保全マネジメント研究部会
	CRE マネジメント研究部会
	人と場への FM 投資価値研究部会
	こころとからだのウェルビーイング研究部会
施設事例 研究	インフラマネジメント研究部会
	キャンパス FM 研究部会
	ヘルスケア FM 研究部会
	公共施設 FM 研究部会
	ユニバーサルデザイン研究部会
固有技術 研究	運営維持手法研究部会
	品質評価手法研究部会
	FM 財務評価手法研究部会
	オフィス・ワークスペースの知的生産性研究部会
	コンピュータ活用研究部会
	BIM・FM 研究部会

ファシリティマネジメントフォーラム ※ JJ: JFMA機関誌「JFMA JOURNAL」掲載

- FMフォーラム2024
(ウェルビーイングを生み出すワークスペースに関する調査と施策のアイデア)
- FMフォーラム2024_JJ (ファシリティマネジャーが実現する組織と個人のウェルビーイング)
- FMフォーラム2023 (ウェルビーイングとワークスペース)
- FMフォーラム2023_JJ (FMを通じた環境配慮型の健康づくり)
- FMフォーラム2021_JJ (コロナ禍におけるワーカーのウェルビーイングの変化)
- FMフォーラム2022_JJ (組織公正に配慮したFMの実践)
- FMフォーラム2021_JJ (コロナ禍におけるワーカーのウェルビーイングの変化)
- FMフォーラム2020 (ウェルビーイングを生み出すワークスペースに関する調査)
- FMフォーラム2020_JJ (ウェルビーイングを生み出すワークスペース)

FM初心者向け秋の18講座・FM秋の夜学校(調査研究部会公開セミナー)

- 秋の18講座2023 (ウェルビーイング実現の鍵:現場での取り組み(座談会))
- 秋の夜学校2022 (ウェルビーイングとワークスペース)
- 秋の夜学校2020 (健康経営とワークスペース)

書籍・報告書 他

- ウェルビーイングを生み出すワークスペースに関する調査手法トライアル報告書
- JFMAジャーナル別冊 調査研究部会 特集号 JJR06_2023 (ESG/SDGsとFM)
- JFMAジャーナル別冊 調査研究部会 特集号 JJR05_2021
- 『HACK THE CRISIS』オフィスにおける新型コロナウイルス感染症対策に関する調査報告書
- JFMAジャーナル別冊 調査研究部会 特集号 JJR04_2019

2024年度の取組み

■テーマ

1. メンバー以外も活用できるマネジメントモデルの開発

「ウェルビーイングに関連するライフイベントとファシリティとの関連性に関する調査」の結果から導出した施策とその検討プロセスなどのモデル公表などツールの開発。

2. 対象と目標

” ころとからだ” を、それぞれ「社会心理学的」と「人間工学的」に深掘りし、個人だけではなく組織のウェルビーイングに拡張しファシリティマネジメントの戦略や計画、評価手法に落とし込む。

■活動計画

1. 研究会（月1回の定例会とTeamsによる逐次協議）

モデルや手法の磨き上げ、組織と個人のウェルビーイングの状態可視化、そのための施策の進捗と結果の評価方法の検討

2. 調査企画

ヒアリングやFMer向けのアンケートなどを通じて、働き方やウェルビーイングの変化を把握し、記録する。

3. 研究成果等の公表

ファシリティマネジメント・フォーラムなどで研究成果や実践の手引きなどを発表、シンポジウムなどによる意見交換の機会の創出。他の研究部会と適宜連携する。

こころとからだのウェルビーイング

こころ 社会心理学的 (Morale , loyalty , Engagement, less stress)

からだ 人間工学的 (Universal Design , Humanscale, Safety)

組織と個人のウェルビーイング



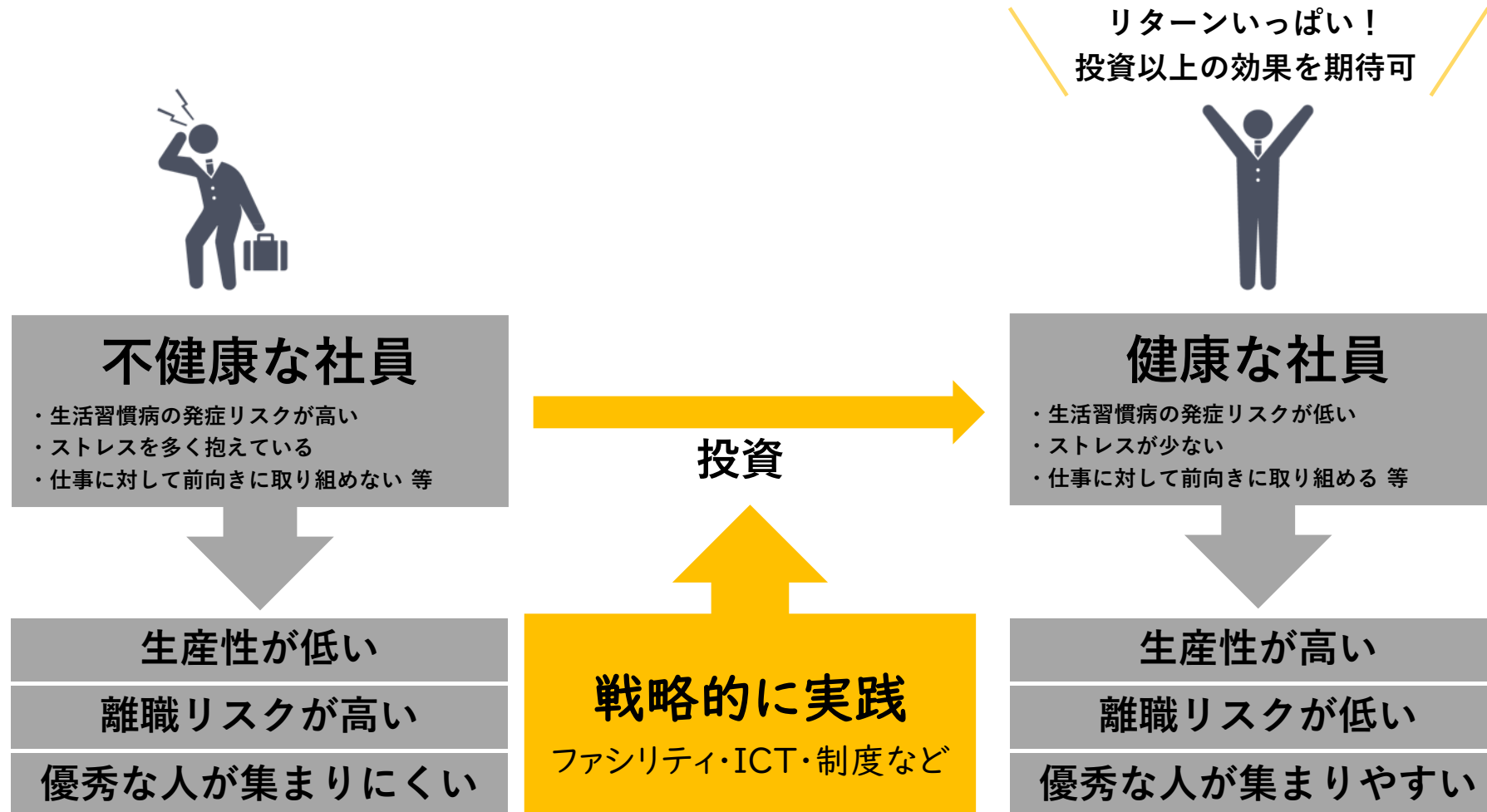
ワークプレイスの整備と質の向上

健康経営とは

企業が従業員の健康に配慮することによって、
経営面においても 大きな成果が期待できるとの基盤に立って、
健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること

特定非営利活動法人 健康経営研究会HPより(<http://kenkokeiei.jp/whats>)

健康経営とは



代表的な生産性指標

アブセンティズム

(健康問題による欠勤)

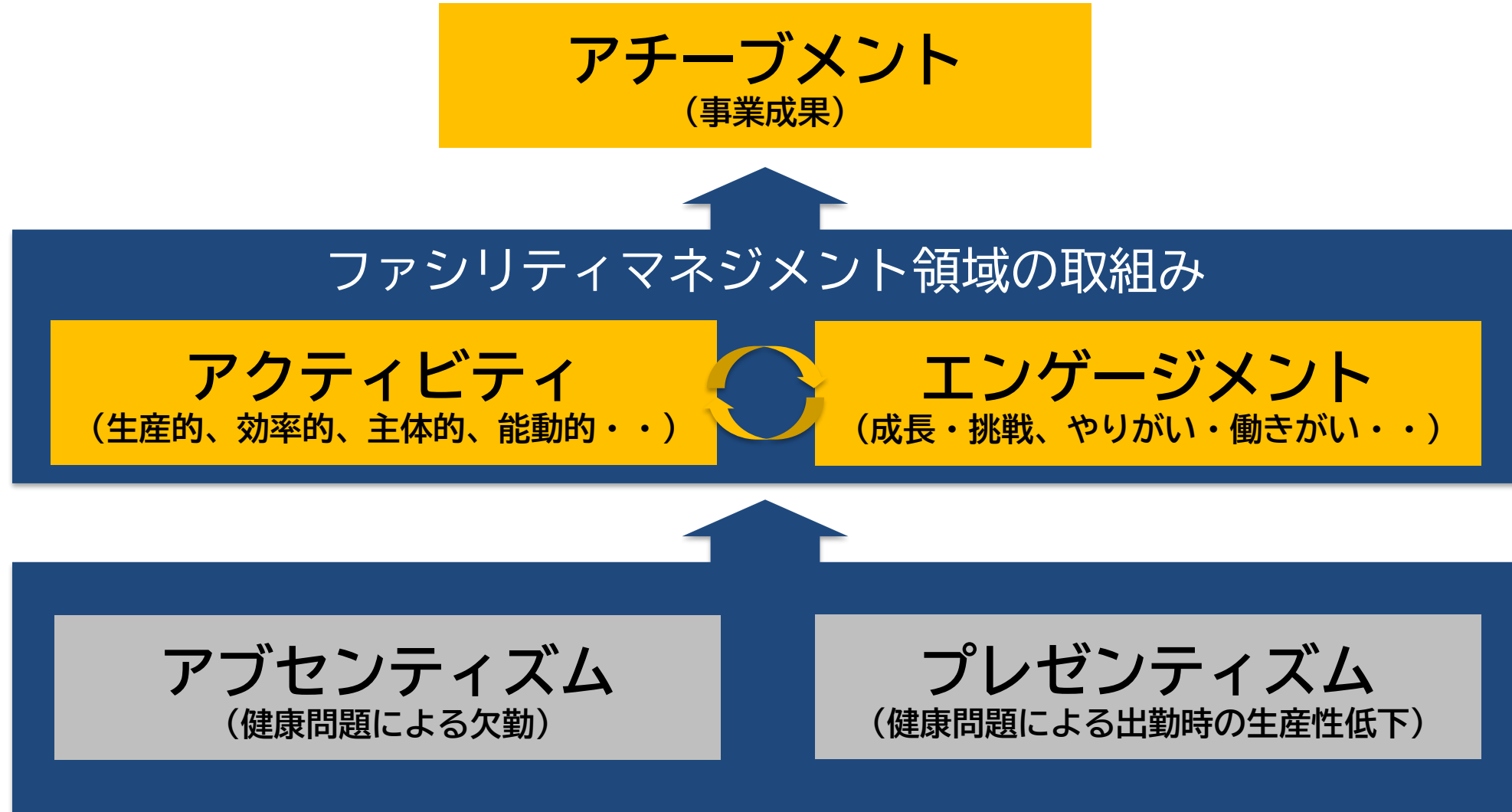
例) 風邪で仕事を休む、
うつ病で長期休職する 等

プレゼンティズム

(健康問題による出勤時の生産性低下)

例) 頭痛で仕事に集中できない
花粉症で業務が妨げられる 等

“経営的視点から考え、戦略的に実践“

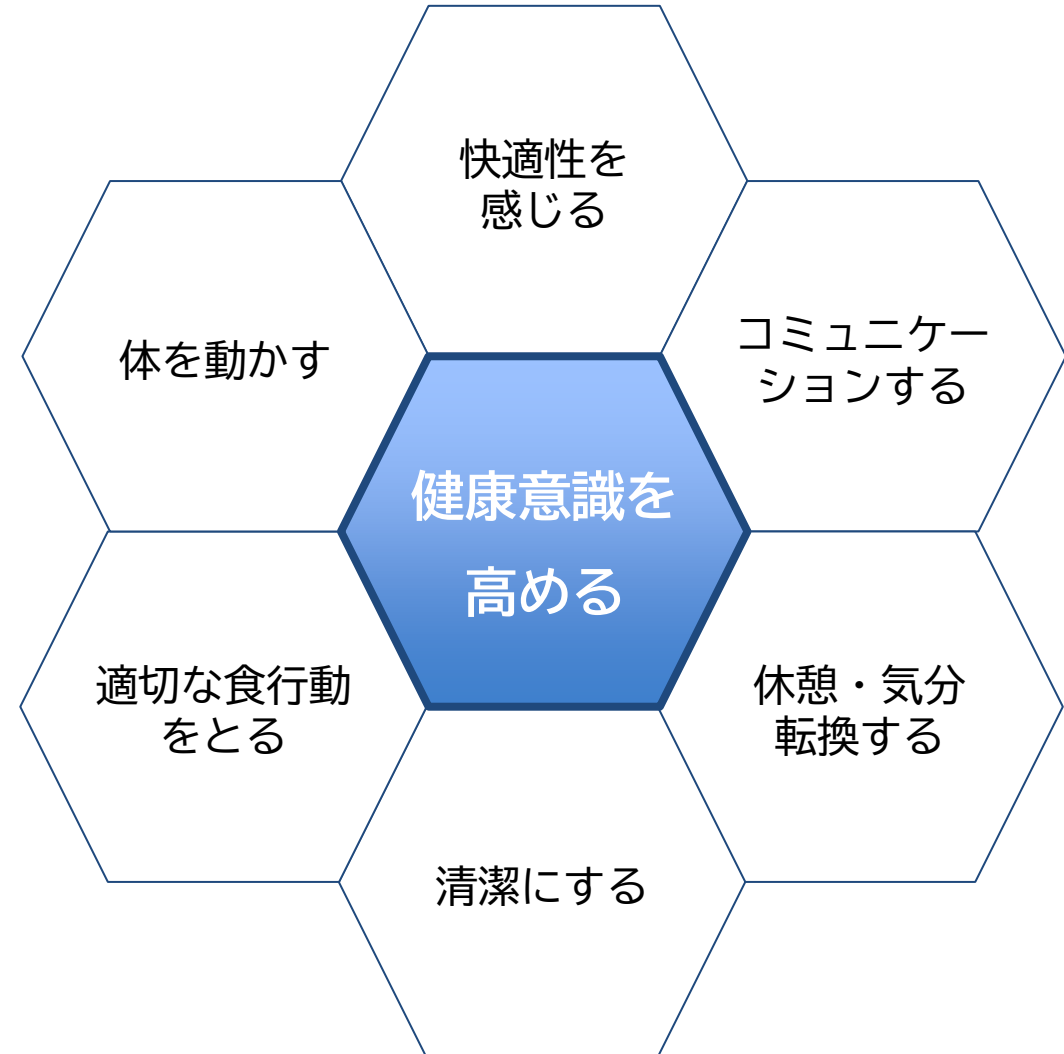


健康経営とワークプレイス(オフィス)

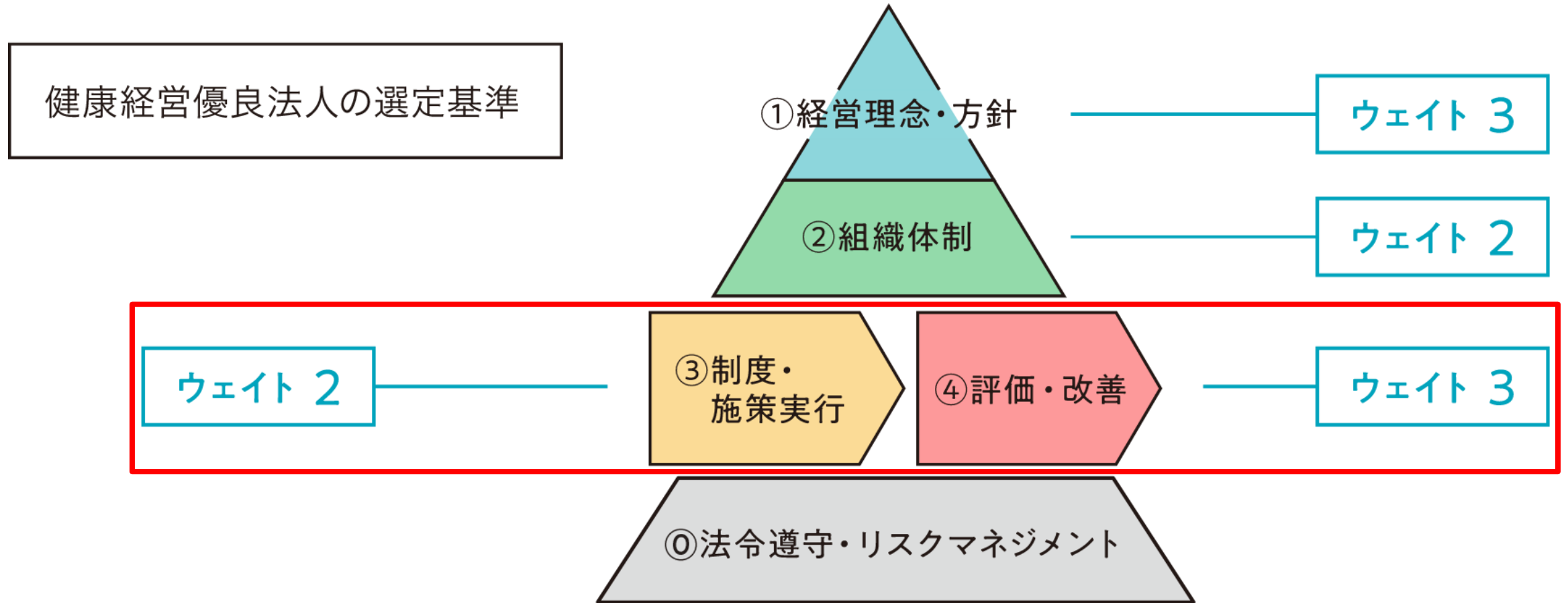


[経済産業省：健康経営関連資料・データ](#)

➡ [健康経営オフィスレポート](#)



第三者へも説明できる枠組みを活用



https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kenkoukeiei_yuryouhouzin.html

<https://kenko-keiei.jp/>

2024年度活動報告

実践に向けて

健康経営に取り組む企業が増えているが・・・

- ✓ 経営層の理解が充分でなく、
- ✓ 具体的にどのように投資し、
- ✓ その効果を享受するのか、説明が難しい。

ステークホルダーに対する説明責任を果たす

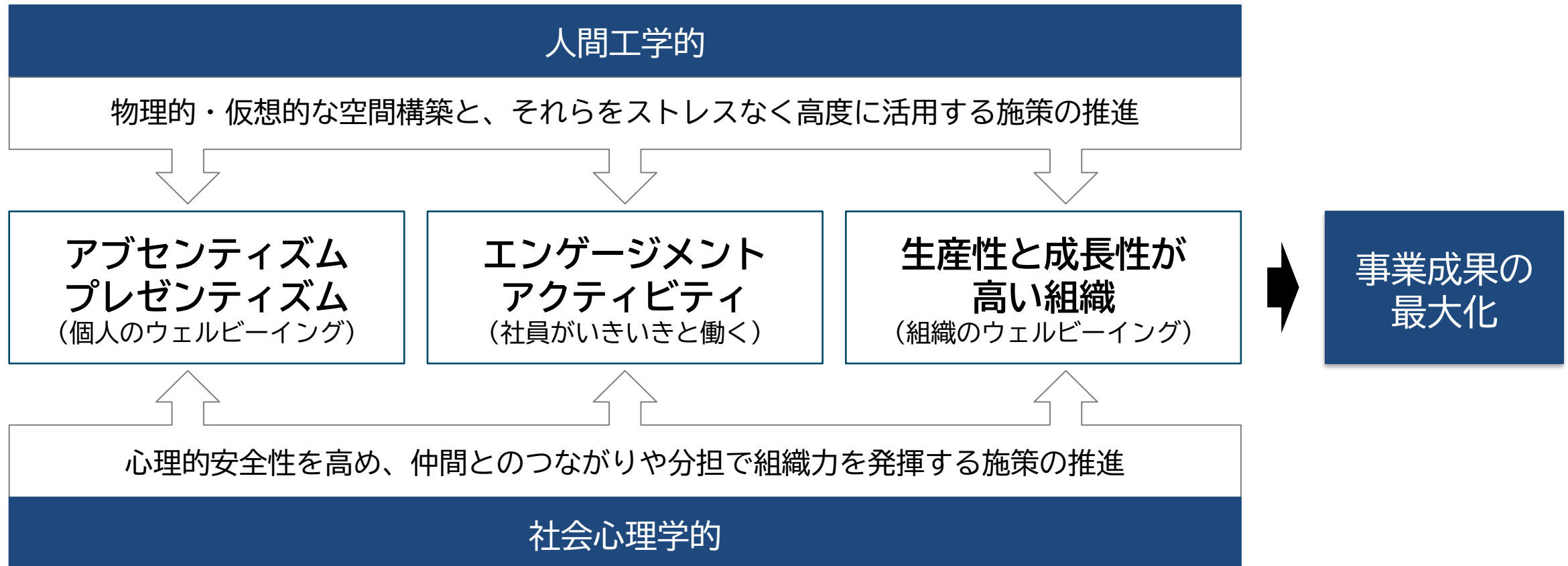
1. 目的、目標、手段の関係が構造化できること
2. 投資対効果が認識できること
3. 主観的にも客観的にも効果測定ができること

実践できるマネジメントの枠組み構築を目指す

ファシリティマネジメント領域と、関連する領域で施策を整理する

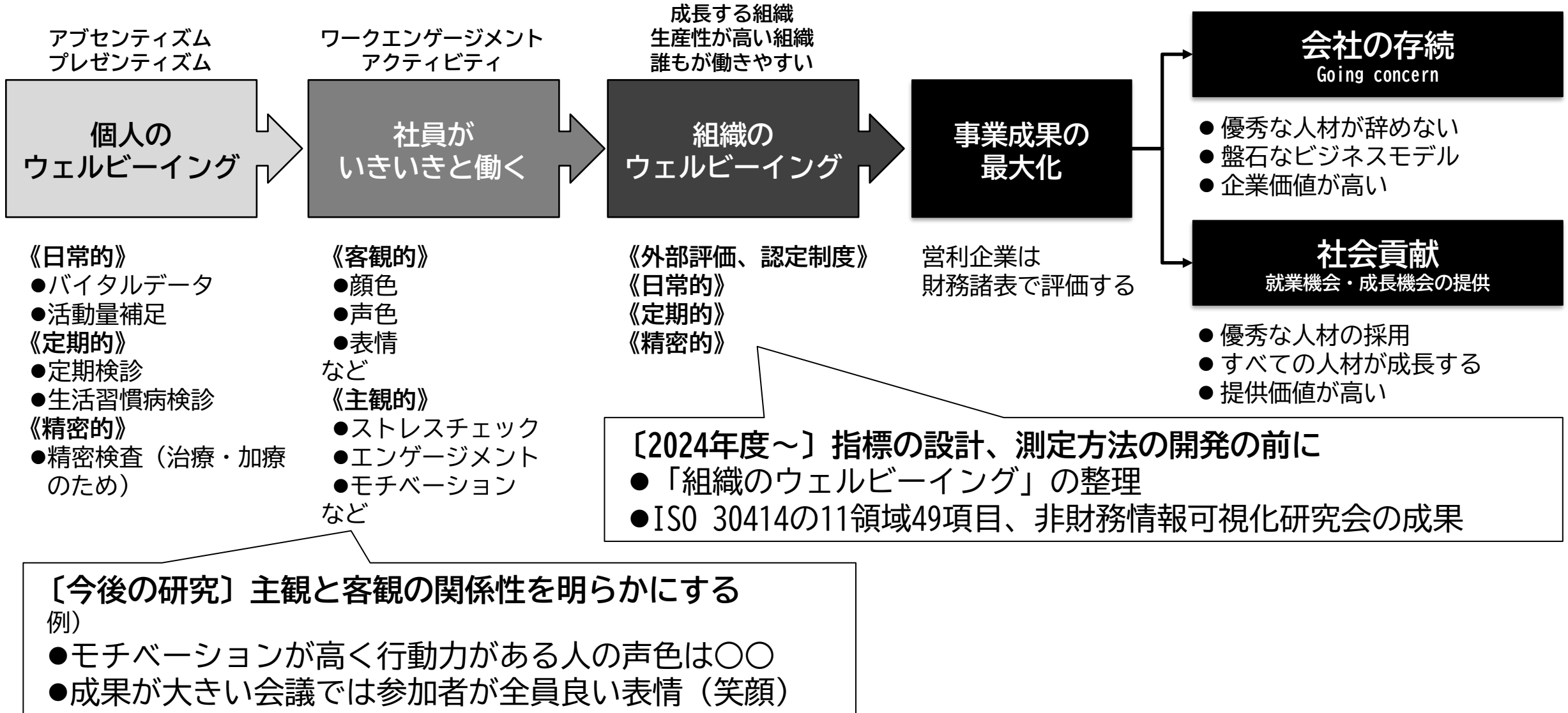
当研究部会のアプローチ

実践できるマネジメントの枠組み構築を目指す ➡ 大枠として整理できた

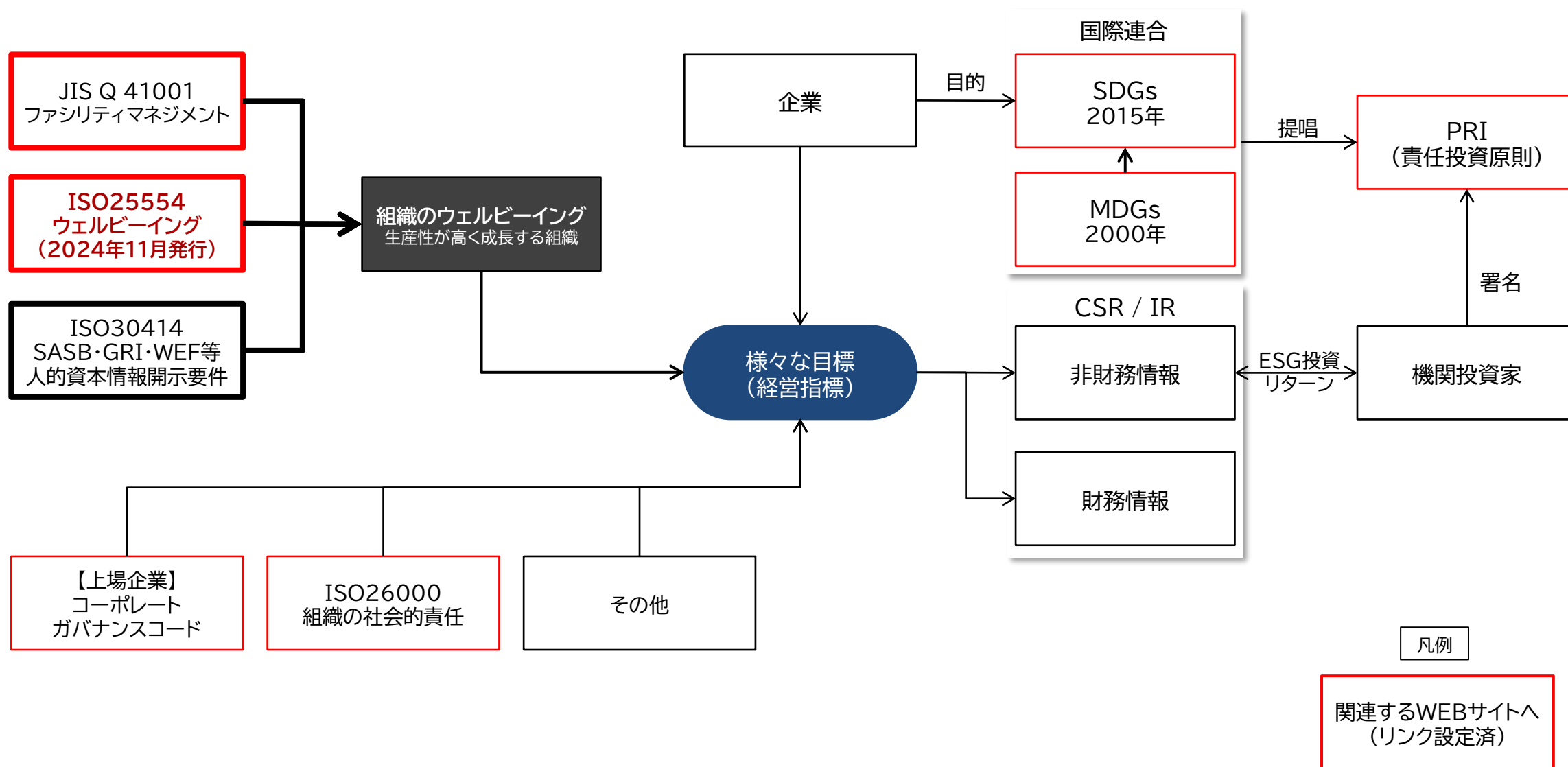


ファシリティマネジメント領域と、関連する領域で施策を整理する

議論の概観



非財務情報開示に向けた視点の整理 (2024年12月版)



ISO25554 3.用語と定義(参考訳)

3.1 幸福

快適で健康で幸せな状態

➡**注記 1:**幸福は、身体的、精神的、社会的条件を改善することによって達成されます。

3.2 コミュニティ

責任、活動、関係の取り決めがある場所または人々のグループ

➡**注記 1:**都市、町、近隣地域、村、農村地域などの場所には、職業団体、宗教団体、企業など、共通の関心や特徴を持つ人々の集団も含まれる場合があります。

➡**注記 2:**多くの場合、コミュニティには明確な地理的境界があるが、すべてではない。

➡**注記 3:**コミュニティ内のアクターとして考えられるのは次のとおり。

- コミュニティ内で管轄権を持つ当局
- 組織、会衆、コミュニティグループ。
- 個人、介護者、家族
- 教育、研究、開発に関心のある人々
- 製品、サービス、建築環境、コミュニティ インフラストラクチャの計画者および提供者。

3.3 メンバー

コミュニティの一部である個人 (3.2)

3.4 ウェルビーイングコンセプト

コミュニティ (3.2) の 幸福 (3.1) を達成するための行動に対するコミュニティ独自の概念

➡**注記 1:**ウェルビーイングの概念は、SDGs の原則「誰一人取り残さない」、WHO の健康的な高齢化、およびコミュニティの使命と価値観と一致しています。

3.5 幸福パフォーマンス指数

コミュニティ (3.2) またはその構成員 (3.3) の幸福 (3.1) の促進の結果を評価するために客観的および/または主観的な指標から導き出された尺度

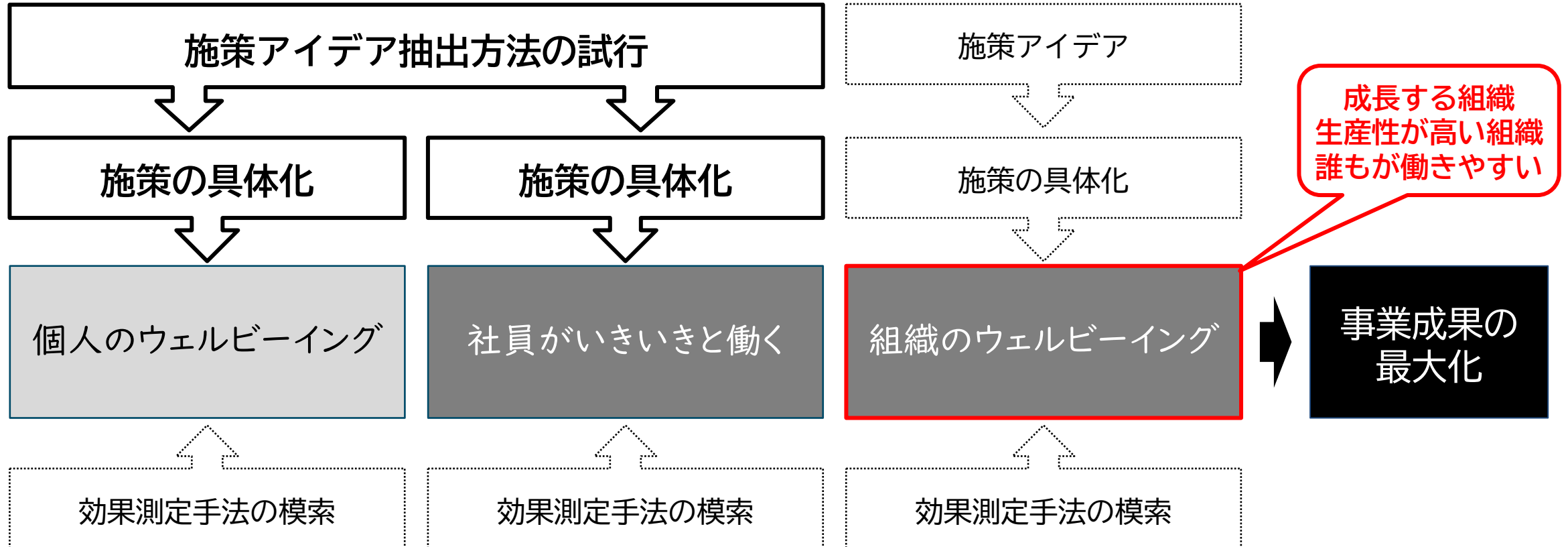
3.6 ウェルビーイングサービス

コミュニティ (3.2) がメンバー (3.3) に直接的または間接的に提供し、幸福 (3.1) を維持または向上させる活動

研究部会へのお誘い



研究活動の展望



定例会とTeamsの活用

2025年度の定例会予定
(基本は毎月第一水曜日)

ハイブリッド形式の定例会
JFMA会議室とTeams
(18:00～20:00)

2025年04月02日(水)	2025年10月01日(水)
2025年05月07日(木)	2025年11月06日(木)
2025年06月04日(水)	2025年12月04日(木)
2025年07月02日(水)	2026年01月07日(水)
2025年08月06日(水)	2026年02月04日(水)
2025年09月03日(木)	2026年03月04日(水)

Teamsを活用した
オンライン協議、資料共有、共同

参加申込、お試し参加申込

マネジメント 研究	FM 戦略企画研究部会
	FM プロジェクトマネジメント研究部会
	リスクマネジメント研究部会
	エネルギー環境保全マネジメント研究部会
	CRE マネジメント研究部会
	人と場への FM 投資価値研究部会
	こころとからだのウェルビーイング研究部会
施設事例 研究	インフラマネジメント研究部会
	キャンパス FM 研究部会
	ヘルスケア FM 研究部会
	公共施設 FM 研究部会
	ユニバーサルデザイン研究部会
固有技術 研究	運営維持手法研究部会
	品質評価手法研究部会
	FM 財務評価手法研究部会
	オフィス・ワークプレイスの知的生産性研究部会
	コンピュータ活用研究部会
	BIM・FM 研究部会

このスクリーンショットは、JFMA（日本ファシリティマネジメント協会）のウェブサイトの「研究部会 最新情報」ページを示しています。左側のナビゲーションメニューには「各研究部会・参加申込」のリンクがあり、これが黄色い矢印で強調されています。右側のメインコンテンツには、2024年10月28日の更新情報と、2023年4月24日の「JFMA JOURNAL R6」の特集号に関する記事が掲載されています。また、下部には「各研究部会の紹介と申込み」のセクションがあり、研究部会への参加方法や申込フォームのリンクが提供されています。

研究部会 最新情報

■ 2024/10/28 YouTube「JFMA CHANNEL」各研究部会紹介動画を公開中！

YouTube「JFMA CHANNEL」にてJFMA調査研究部会についてのご紹介しております。
「研究部会ってなんだ？」から各18研究部会の活動内容についてまで、各部会ごとに動画をご用意しています。興味のある部会をぜひ観てみてください！

■ 2024/10/28 ウェルビーイングを生み出すワークプレイスに関する調査手法トライアル報告書！

こころとからだのウェルビーイング研究部会の報告書の公開です！
「幸福」や「働きがい」など、人の価値観に踏み込んだ場合、どのようなアクションが良いか、という多くのファシリティマネージャーが悩まされるテーマにどう向き合い、施策を立案するのか、調査手法の開発を通してトライアルを実施し、その報告書を描きました。

■ 2023/04/24 JFMA JOURNAL R6（ジャフマジャーナル別冊）調査研究部会特集号2023 発行！

JFMA機関紙 JFMA JOURNAL（ジャフマジャーナル）の別冊号「JFMA JOURNAL R」シリーズの第6弾！ 【特別編『ESG/SDGsとファシリティマネジメント』】
JFMAには18の調査研究部会があり、それぞれのテーマで活発な活動を行っています。今回、多くの部会が、ファシリティマネジメントのあり方を大きく変えようとしているサステナビリティ変革の潮流に対して、それぞれの領域におけるレポートを作成し、一冊にまとめました。
本冊子は、2021年に調査研究委員会SDGsタスクフォースが中心となり取りまとめ発行したJFMA SDGsタスクフォースレポート2021『SDGsで変わるファシリティマネジメント』（入門編）をベースにして各部会において展開したもので、各部会が一つのテーマに取り組むという初めての試みの成果でもあります。
ぜひ一読いただき、皆さまのSDGsの取り組みのヒントにしていいただければと思います。
・JFMA 書籍ページにて発売中！

各研究部会の紹介と申込み

- 研究部会に参加希望の方は、下記申込フォームよりインターネットにてお申込みください。
（研究部会への参加には「JFMA会員」資格が必要です）
- 『参加』及び『お試し参加』申込フォーム

※ お試し参加 及び 正式参加申込につきましては、「一度に2研究部会まで」とさせていただきます。
※ 入力フォームから申込できない場合には、担当までご連絡ください。

こころとからだのウェルビーイング研究部会